

## 第2学年 国語科学習指導案

1 単元名 合体クイズをプログラミング

2 単元の目標

- これまでに学習した漢字を読み、漢字や言葉をつくる。
- 積極的に漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習を生かして漢字クイズに取り組むことができる。

3 本時の学習

(1) 目標

2つ以上の漢字を組み合わせて別の漢字を作る活動を通して、漢字を読んだり書いたりすることへの興味関心を高めることができる。

(2) プログラミングを取り入れる効果

- Viscuit を用いることで、児童の活動に意欲的が高まる。
- クイズをつくる過程で、漢字の組み合わせを考えることに注力することができる。

(3) 展開

学習活動	・指導上の留意点（◇評価）
1 本時のめあてや学習課題を確認する。	・漢字の部分に着目することをおさえるために例題を示す。
「合体かん字クイズ」をつくろう	
2 クイズの作り方を理解させて、問題づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習漢字を忘れていた児童の手がかりとするため、使用する漢字の一覧表を配布し、黒板にも掲示する。</li> <li>・プログラムの作り方を黒板に掲示する。</li> <li>◇漢字の構成に興味をもって、積極的にクイズづくりに取り組むことができる。（観察）</li> </ul>
3 タブレットを用いて、作成したクイズを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出題の仕方を示す。</li> <li>◇2つ以上の漢字を合体させて、別の漢字を作ることができる。（ワークシート）</li> </ul>
4 児童がつくった問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を電子黒板に映して、児童一人一人が自分で答えを導き出す時間を設ける。</li> </ul>
5 ふりかえりをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを使用したことではなく、漢字を組み合わせる観点から感想を発表させる。</li> </ul>

4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	漢字は部分の組み合わせからできていることに気付き、2つ以上の漢字を組み合わせて別の漢字を作ることができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	合体した後の漢字を提示して部分に着目させながら、どの漢字とどの漢字を組み合わせたらよいか助言する。